

文= GERMANCARS 撮影=G・C・E
協力=セントラルオート (TEL.03-3883-9922)

ボディも大きいですが、これでもか、
と言わんばかりの豪華な装備もW
140の魅力。しかしさすがの装
備もデビューから18年が経過し、ト
ラブルが目立ってきている。
メルセデス・ベンツ専門の修理工
場セントラルオートの児玉氏も「シー
トスイッチ、ドアロック、クロージン
グサポートなど、ユニットそのものの
不良が出ています。特に怖いのはエ
アコンですね。風が出ないとか冷え
ないといったことも多いですが、最
近はナビと二体型となったユニットそ
のものが不良で温度調整ができない
などの症状が出ています。新品を買
う予算がない人は中古品を使うのも
手ですが、しっかりと作動確認が取
れたものを選ぶようにしたいです」
と話す。ナビやエアコン二体型の中古
ユニットは5万円くらいで流通してい



豪華な装備が自慢の W140 だが、その装備類の
トラブルが増えてきている。電気的なものから樹脂
の劣化まで原因は様々だが、放っておいては S ク
ラスの名がすたる。ここはしっかりとメンテナンスし
ておこう。

豪華
絢爛な
W140
だからこそ

装備類のトラブルに注意せよ

るから、エアコンそのものが壊れる
より費用的にはありがたいが、電気
的な部分の故障が始めていることは
確かな事実のようだ。

また、樹脂部分の劣化も進んでお
り、例えばルームミラーにガタが出
るといったことも起きている。これ
はミラー内部の樹脂部分が折れてし
まうことでガタつきや異音を発生さ
せるといふもの。走行中の異音はと
ても気になるものだから、ここはしっ
かりと直しておきたい。パーツ交換
も可能だが、セントラルオートでは
これを修理することができ、高い
部品ではないが、修理できる場所は
は修理して維持費を抑え、他のメン
テナンスに回すといったことも、これ
からのW140の維持では重要なポ
イントになってくる。

定番はウインダー落ち。二重構造
のウインダーがその重みに耐えきれ
ず落ちてしまうもので、ウインダー
レギュレーターに備わる小さな樹脂
ストッパーが割れてしまつたが原因。
これを防ぐにはウインダーを一気に
開けず少しずつ下げ、最後まで開
けないことが寿命を延ばすコツだ。
走行に支障をきたさない部分を後
回しにする人が増えているのが現在
の状況のようで、装備類の不良も放
置されるケースが多い。先々代型と
なったW140だが、その佇まいや
押し出しの強さは今もなおSクラス
の恩恵を受けるに相応しいもの。しっ
かりとメンテナンスして元調を目指そう。

●●● 電気的な不良や樹脂の劣化が多い



テレビやナビゲーションと一体となったエ
アコンスイッチは、ユニットの不良により
操作不能になることがある。新品だと高
額だが、中古品も出回っている。



シートを象った調整スイッチはメルセデス
ならではのものだが、この調整ができな
くなったりスイッチの回りにあるライトが点
灯しなくなるケースが多い。



ルームミラーはガタが出たり、ひどくなる
と走行中の異音の原因にもなる。樹脂
部分が劣化により割れてしまうことがあ
るが、これは修理が可能。



リアシートの調整スイッチは一般的に使用頻度が
少ないためトラブルが起きることは稀。ただ気
づいていないだけ、というケースも考えられる。

●●● ドアロックポンプの不良



集中ドアロックが動かない、ロックが解除できな
いといったトラブルは、ドアロックポンプが不良であ
ることが多い。

●●● クロージングサポートの トラブルが出ている！



半ドアの状態からでもドアを自動で閉めてくれるクロージングサポート
はSクラスらしい装備。これが動かなくなる場合、ユニットが壊れてい
る可能性が高い。

●●● ゲリラ豪雨の影響で エンジン不調になったケースも

最近の異常気象のせいなのか、局地的な大雨による被害がゲリラ豪雨としてメディア
では騒がれている。じつはその被害はクルマにまで及んでいるという。主な症状としては室
内への雨漏り、劣化が進んだウエザーstrippや水抜き穴の詰まりなどが原因。また
湿気によりデスピ内に水滴ができてしまいエンジン不調になるケースも増えているとのこ
と。突然の雨を避けることはできないが大雨の後は洗車ついでに点検しておくとう安心だ。

●●● メーターの不良



メーターはライトが点灯しなかったり、
点灯してもチカチカと点滅したりするこ
とが多い。計器の針の動きがおかしくな
ることもあるようだ。